

# 平成26年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	05	事業名	たかつ区健康福祉まつり事業		
事業所管課	地域保健福祉課			担当者	両角	連絡先	044-861-3302
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	少子高齢化の急速な進行により、高齢者の健康維持、心身障害者の自立などはますます大きな社会問題となっており、これらの問題を地域ぐるみで考え、明るい福祉社会を構築することが求められている。
事業概要	高齢者や子ども、心身障害者の方々を含む多くの区民や団体が交流を深め、健康や福祉を共に考える場を設けることで、地域福祉を推進することを目的とする。健康や福祉に関する地域の団体や施設による、自主製品の販売や健康相談等の各種催しものを、実行委員会に委託して実施する。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,098,000	予算額(調整後)	1,099,000	決算額	1,064,401	不用額	34,599
不用の理由	できる限り費用の節減に努め、主に使用料及び賃借料で不用が生じたため。						
事業目標	高齢者や子ども、心身障害者の方々を含む多くの区民や団体が交流を深める中で、健康への意識の向上、福祉への理解、健康福祉関連団体のネットワークの充実等を図る。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	○参加団体の活動の紹介 ○福祉施設自主製品の販売 ○健康相談や体脂肪測定、育児相談などの各種催し物の展開						
事業目標を達成する上での課題等	○展示内容の充実 ○効果的な広報による来場者の拡大						
実績	「たかつ区健康福祉まつり実行委員会」に委託し、平成26年7月12日(土)10時から15時まで、てくのかわさきに開催し、1,600人が来場した。昨年度に引き続き、東日本大震災復興支援として東北地方の物産販売と募金を実施し、物産販売の利益と募金額を日本赤十字社の東日本大震災義援金として寄付した。(利益額¥8,962、募金額¥12,682、合計寄付額¥21,644)						
協働の視点	高津区で活動している健康や福祉関連団体とともに、当まつりの企画・運営を行った。						
環境配慮への視点	二酸化炭素排出量削減のために来場者にうちわを配布した。ごみの持ち帰りを呼びかけ、ごみの削減を図った。						
取組の成果	実行委員会を中心にまつりの企画内容を検討した。東日本大震災の復興支援としての物産販売や募金をを行い、特に募金額が増加した。昨年度から引き続いて取り入れた、小学生の合唱や子どものフラダンス、かき氷の配布等により来場者層の幅が広くなり、多くの区民が健康や福祉に触れるきっかけを設けることができた。						達成度 <b>3</b>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	■見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する <input type="checkbox"/>
	今後も少子高齢化のさらなる進展、人口減少への転換が見込まれるなか、地域のつながりを深め、市民が互いに助け合う関係づくりの強化が求められることから、引き続き、実行委員会及び参加団体が構成される企画部会での検討を重ね、健康や福祉を共に考える場の提供、参加団体間の交流のさらなる充実を目指していく。 東日本大震災被災地復興支援についても、引き続き検討していく。

# 平成26年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	10	事業名	高津区地域包括支援ネットワーク推進事業		
事業所管課	高齢・障害課			担当者	坂尾	連絡先	044-861-3255
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者数が増加する中で、単身高齢者・高齢者のみ世帯も増加している。また認知症高齢者の増加もあり、一部の高齢者にとっては地域の支えが十分活用できていない(65歳以上の人口37,066人、高齢化率16.76% H26.10.1現在)。</li> <li>・核家族化の進行や単身世帯の増加により、区民が高齢者の特性や介護に関する知識や体験に乏しい状況にある。</li> <li>・地域におけるつながりが希薄化し、自治会が組織されない大規模マンションもあり、民生委員や老人クラブの友愛チームといった従来の手法による地域の見守り活動だけではニーズへの対応が困難となっている。</li> <li>・高齢化の進行により、訪問診療や訪問看護等、医療的なケアが必要な在宅高齢者が増加していきが見込まれるが、介護関係者と医療関係者の情報共有は不十分な状況にある。</li> </ul>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護関係者と医療関係者の連携強化と医療と介護の連携状況を区民へ周知するため、「高津区の現状を知る」というテーマで区全体でのシンポジウムや講演会を開催する。</li> <li>2 認知症の知識の普及のため、認知症サポーター養成講座を開催する。</li> <li>3 地域の高齢者の見守り体制の強化のため、高津区高齢者見守りネットワーク事業の協力団体・協力事業所を対象とした交流会を開催し、情報交換及び研修の場とする。また協力事業者の拡充に向けて、働きかけを行う。</li> <li>4 地域ケア連絡会議を開催し、区内の課題抽出・検討を行い、地域ケア体制を推進する。</li> </ol>

## 3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	200,000	決算額	191,992	不用額	8,008
不用の理由	医療と介護の連携シンポジウムを高津市民館の大会議室で開催するとして会場借上料を要求したが、希望日に会場を借りることが出来ず、高津消防署講堂を使用したため、不用となった。				
事業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ケアが必要な高齢者を在宅で支えるために、区民、介護関係者、医療関係者に「医療と介護がどのように連携する必要があるか」、「地域ではどのようなことが出来るのか」について考え、実践に繋げてもらう。</li> <li>2 認知症について正しい知識を身に付け、地域で認知症の人とその家族を支援する活動を始めてもらう。</li> <li>3 地域で高齢者を見守り、支援が必要な高齢者を早期に支援機関に繋げられるようになる。</li> <li>4 地域ケア連絡会議で地域課題について話し合うことで、地域のネットワークの構築が図られ、課題の解決に繋がる。</li> </ol>				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療と介護の連携シンポジウムの開催</li> <li>2 認知症サポーター養成講座、認知症サポーターフォロー講座の開催</li> <li>3 高津区高齢者見守りネットワーク事業交流会・講演会の開催</li> <li>4 地域ケア連絡会議の開催</li> </ol>				
事業目標を達成する上での課題等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域ケア体制の必要性の周知を継続して行い、取り組みに参加する人を増やす必要がある。</li> <li>2 認知症支援に関わる団体との連携を強化する必要がある。</li> <li>3 地域で高齢者を見守る意識を更に高めていく必要がある。</li> <li>4 地域課題の抽出が不十分。</li> </ol>				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護の連携シンポジウム(12/3(土)14:00~16:30、高津消防署、曇り、84名参加)</li> <li>・認知症サポーター養成講座(市民向け)(11/8(土)14:00~16:00、高津区役所、曇り、52名参加)</li> <li>・認知症サポーター養成講座(区役所職員向け)(11/21(金)15:00~17:00、高津区役所、晴れ、20名参加)</li> <li>・認知症サポーターフォロー講座(2/10(火)14:00~16:00、高津区役所、晴れ、29名参加)</li> <li>・高齢者見守りネットワーク交流会(高津地区)(9/10(水)13:00~15:30、高津区役所、晴れ、103名参加)</li> <li>・高齢者見守りネットワーク交流会(橋地区)(9/24(水)13:00~15:30、橋出張所、曇り、79名参加)</li> <li>・地域ケア連絡会議(4/18(金)、6/20(金)、9/17(水)、12/19(金)、2/20(金)9:30~11:30、高津区役所、構成員 町内会、民生委員、病院MSW、町会見守り活動連絡会、区社会福祉協議会、介護支援専門員連絡会、地域包括支援センター)</li> </ul>				
協働の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全町内会連合会総会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ会長会にてシンポジウム等の広報を行うと共に、案内状を郵送した。</li> <li>・町内会、民生委員、病院MSW、町会見守り活動連絡会を年度途中から地域ケア連絡会議の構成員に追加した。</li> </ul>				
環境配慮への視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は再生紙を利用。</li> <li>・イベント開催時には、ゴミの持ち帰りを呼び掛ける。</li> </ul>				
取組の成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 病院MSW、ケアマネ、在宅診療医、訪問看護師、地域包括支援センターに医療と介護の連携について話してもらったことで、自らや家族の療養の際に、在宅医療を選択肢として考えてもらえるようになった。</li> <li>2 認知症の知識、認知症の人とその家族を支援する実践例を伝えることで、地域で認知症の人を支援するきっかけづくりが出来た。</li> <li>3 支援が必要な高齢者を支援に繋げた実例や地域で見守ることの必要性について伝えることで、支援が必要な高齢者を発見した際に、スムーズに支援機関に繋げることが出来るようになった。</li> <li>4 町内会、民生委員、病院MSW、町会見守り活動連絡会を地域ケア連絡会議の構成員に加えることで、幅広い課題の抽出、意見交換をすることが出来た。</li> </ol>				達成度

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	急激な高齢化に対応するためには、医療、看護、介護、福祉、生活支援などを含めた必要なケアが、地域において一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が必要となる。希薄化が懸念される地域のつながりを今の時代に合った方法で取り戻し、誰もが互いに助け合う関係であるという認識を共有し、地域による自主的な「助け合い」の活動を活性化させるために、在宅医療のシンポジウム等の取り組みを継続すると共に、地域の見守り活動等の立上げを行う町内会・自治会を支援し、新たな層を対象とした認知症サポーター養成講座の開催、認知症キャラバン・メイトとの連携を推進する。

# 平成26年度 高津区地域課題対応事業 評価書

## 1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	15	事業名	高津公園体操推進事業費		
事業所管課	地域保健福祉課			担当者	木村、佐藤	連絡先	044-861-3313
関係局(局区連携事業は記載)							

## 2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区の高齢化率は16.49%と市の平均よりは低いが、要支援以上の高齢者数は17.57%で市の平均の16.84%よりも割合が高い(26年4月1日現在)。平均寿命と健康寿命の差が男性9.13歳、女性12.68歳であり、平均寿命と健康寿命の差を縮小することが、生活の質の向上につながる。さらに高津区は転入者が多く、一世帯あたりの人員2.11人、一人暮らしの高齢者が増加している。介護予防に取り組む人が増え、身近な場所で誰もが簡単にできる高津公園体操を通して、「閉じこもり予防」「見守り活動」も含めたコミュニティの活性化を目指す。
事業概要	要介護の大きな原因である「生活習慣病」「骨折・転倒」の予防のために「高津公園体操」が作られた。「有酸素運動」「筋力トレーニング」「柔軟体操」の運動の3大要素が組み込まれた15分間の体操。軽快な音楽とテープの声に合わせて、運動が苦手な方、若い方、高齢の方にも無理なく気軽にできる。 ①既存の高津公園体操グループの活動が継続できるように運営支援をする。 ②高津公園体操を普及啓発し、取り組む地域を増やしていく。

## 3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	450,000	予算額(調整後)	451,000	決算額	233,827	不用額	217,173
不用の理由	配当留保(40,000円)のほか、入札差金のため						
事業目標	「高津公園体操」に取り組むグループを支援し活動を継続維持することや、新たな立ち上げを希望するグループを増やすことで要介護者の増加の抑制を目標とする。また、活動を推進することで、「閉じこもり予防」「見守り活動」も含めた各地域のコミュニティの活性化を目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①普及啓発のための講演会等の実施、リーフレットの作成 ②公園体操立ち上げのための研修会の実施 ③グループリーダー交流会の実施 ④既に実施している区民へのフォロー教室の実施 ⑤CD・カセット・DVDの委託販売 ⑥保健師によるグループ支援						
事業目標を達成する上での課題等	高津公園体操に取り組む各グループの活動が継続維持され、参加者の健康づくりだけでなく、「見守り活動」やコミュニティの活性化ということを目指すには、地域包括支援センターと連携しながら支援を行っていく必要がある。						
実績	①普及啓発講演会の実施(10月28日、参加者31名)、いこい元気広場、イベント等での普及啓発、リーフレットの配布(約3000部)。 ②新しく立ち上げたい地域、グループへの研修会を3回実施。 ③グループリーダー交流会の実施(2月3日、参加者43名)他のグループと交流することで横のつながりができた。 ④フォロー教室の実施(1月9日、参加者63名) ⑤CD・カセットテープ・DVDの販売(カセット6枚、CD7枚、DVD10枚2月末現在) ⑥各公園体操グループのリーダーから地区担当保健師が随時相談を受けながら、グループの継続と活性化にむけて支援した。						
協働の視点	ヘルスパートナー高津や区内の地域包括支援センターと協働して地域へ普及啓発活動をしている。公園での高津公園体操の実践に関しては、町会や老人会とも協働し行っている。また、所属団体のないグループのリーダーとも協働している。						
環境配慮への視点	公園体操実施前後に、公園の清掃活動を実施しているところがある。						
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>高津公園体操を知らない区民が介護予防・健康づくりの必要性について知り、高津公園体操の参加につなげることができた。</li> <li>区民がより身近な地域で公園体操に取り組めるように、新たに2か所で立ち上げることができた。また、立ち上げにむけた相談を数か所から受けている。</li> <li>現在、高津公園体操に取り組んでいる区民とリーダーが活動継続の効果を実感できる働きかけを行えた。全ての公園体操で活動が継続できており、運営相談やリーダー同士の交流を通して、継続やコミュニティ活性化への意識付けを行えた。</li> </ul>						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

## 4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	来年度以降も、普及啓発活動、既に始めている方へのフォロー教室やリーダー交流会を実施する。現在活動しているグループが継続するだけでなく、「見守り活動」やコミュニティの活性化にも取り組めるように働きかける。